

ボーカルとギターだけの最少ユニット「Voice of blue」。
JAZZをベースに、ポップス歌謡曲などもアレンジする。康野のギターの音色の美しさとテクニック横前のスモーキーボイスとフレイジングには定評がありユニットのファンも多い。シンプルで無駄のない音作りをし、常に聴衆を惹きつけ、徐々に活動の場を広げている。今回は、鍵盤楽器のスペシャリスト、夏秋文彦が加わり、さらに多彩な音を奏で出す。

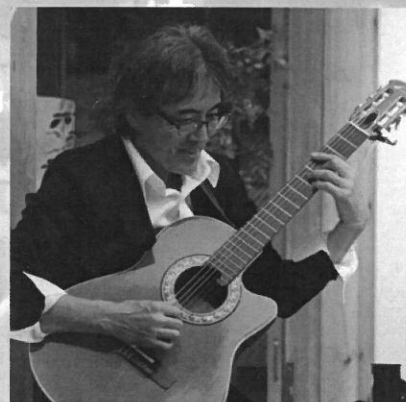


横前恭子

ファンクバンドのコーラスでメジャーデビュー以降、ソロシンガーとして多方面で活躍。Jazz、Soul、Popsを中心に国内外で数多くのステージをこなす。1st solo albumはJason Marsalisを始め、New Orleansで活躍中のミュージシャンと制作。2nd mini albumは、平岡遊一郎氏のプロデュース、アレンジにより、2014年1月発売。2014年5月、郷里の中川村に移住し、活動の場を広げている。

康野基伸

小学校の頃からギタースクールに通い、その後ロックギターに憧れバンドを結成。数々のコンテストで優勝し、その後ジャズ、フュージョンのプレイヤーとして自己のバンド、プロミュージシャンのサポート、ギター指導など、幅広く活動を続けている。Jazzに対する独自のアプローチが、近年、多くのギタリストから高い評価を受け、まさに今、「旬のギタリスト」。



夏秋文彦

音楽家

(鍵盤ハーモニカ、ピアノ、口琴、コンツォフカ、etc.)
鍵盤ハーモニカをはじめ数多くの楽器を操り、オリジナルの楽曲や即興演奏を中心としたライブ活動を展開。ソロパフォーマンスそして数多くのミュージシャンとのコラボレーションをしながら日本はもとより、世界各国で演奏活動を続けている。伊那谷に棲む音の魔術師。

-BAR-
Reunion

飯田市銀座2-11 0265-23-5811

